平成２５年度　第２回鶴岡市廃棄物減量等推進審議会（会議概要）

* 日　　時　　平成２６年３月１２日（水）午後２時から
* 会　　場　　鶴岡市クリーンセンター研修室
* 次　　第　　１．開会　２．委嘱状交付　３．主催者挨拶　４．会長挨拶

５．審議（１）副会長の選任について

　　　　（２）平成２６年一般廃棄物処理実施計画（案）について

６．その他　７．閉会

○委員出席者　　鶴岡市廃棄物減量等推進審議会委員１１名（名簿別添のとおり）

○市側出席者　　市民部長、市民部参事（兼）廃棄物対策課長、

各庁舎市民福祉課長、廃棄物対策課職員　１３名（名簿別添のとおり）

（午後２時開会）

１．開会

　市民部参事

　　　ただ今から、平成２５年度第２回鶴岡市廃棄物減量等推進審議会を開催いたします。

２．委嘱状交付

　市民部参事

　　　このたび、一般社団法人鶴岡地区医師会事務局長御橋慶治様が新たに委員に

　　なられますので、市民部長上原正明から委嘱状の交付をさせていただきます。

３．主催者挨拶

　　　市民部長（内容省略）

　　　課長補佐

　　　　（委員の出席状況報告・配布資料の説明）

４．会長挨拶（内容省略）

５．審　議

　（１）副会長の選任について

　　　廃棄物対策課長補佐

　　　　　鶴岡市廃棄物減量等推進審議会条例第３条第２項の改正があり（１）の

　　　　市議会議員の部分が削除されたことに伴いまして当審議会副会長の加賀山茂委員が退任となりました。このため、審議会条例第５条に基づき委員の互選により副会長を定めることとなりますので、よろしくお取り計らい願います。

　　　会長

　　　　　皆様いかがいたしましょうか。

　　　委員

　　　　　事務局一任

　　　廃棄物対策課長補佐

　　　　　庄内総合支庁環境課長の相澤栄司様に副会長をお願いをいたします。

　　　会長

　　　　　皆様の拍手でご承認願います。

（拍手）

　　　　　満場一致で承認されました。相澤委員よろしくお願いいたします。

　（２）平成２６年一般廃棄物処理実施計画（案）について

　　　廃棄物対策課長補佐

　　　　　（平成２６年一般廃棄物処理実施計画（案）について　説明省略）

　　　委員

　　　　　個人情報がらみの事業所ごみのなかには資源ごみとなるものがあるようだという説明がありましたが、チェックや指導はどのように行われているの

　　　　でしょうか。

　　　廃棄物対策課長補佐

　　　　　細かなチェックはできませんが、計量受付の時と、ごみをピットに入れる前のプラットホームで担当職員が見える範囲でチェックしています。計量

受付の際はどのような種類のごみなのか聞き取りを行っています。

　段ボール・新聞などを見つけた場合は、資源回収に協力を願っております。

個人情報などが入っているものかどうかの判別はできませんから、排出される前に、皆様から今一度チェックしていただければと思います。

　　　委員

　　　　　事業所としては、そういうことのわかるパンフレット類をもらえると、

　　　　より資源化について理解ができると思います。

　　　廃棄物対策課長補佐

　　　　　指導できる範囲で、これまで以上に情報発信なり啓発啓蒙もしていきたい

　　　　と思います。

　　　委員

　　　　　使用済み小型家電を昨年環境フェアで回収していましたが、実績について

　　　　教えてください。それから、非常に良いことなので、秋だけでなく、春も

　　　　なんてできるものかどうか。

リサイクル推進主査

　　１日だけの開催でしたが、約４５６Ｋｇ集まりました。参考ですが

　やまがた環境店が２日間開催され約２５０Ｋｇの実績だったと聞いて

　います。春も実施してほしいとのことですが、４月の広報に掲載しておりますが市の「環境にやさしい店」に登録いただいている生協こぴあ店の協力を

　得まして４月１９・２０日の２日間、使用済み小型家電回収を実施予定です。

　　ワープロの件ですが小型家電リサイクルの範囲ですが、回収の品目とはなっていません。

　　　委員

　　平成２８年度からの一般廃棄物処理基本計画を作成するときにご検討いただけないかということで、平成２４年３月に改定した、山形県循環型社会

　推進計画では、一人一日当たりごみ排出量、原単位については、市町村処理量と集団資源回収量を人口及び年間日数で除した数値としています。鶴岡市

　の場合は、生活系排出原単位となっています。これを指標とすることについては、異論ありませんが、事業系排出量と集団資源回収量も含めた県の一人一日当たりごみ排出量と合わせたものをもう一つ指標として評価していただけないかという要望です。もう1点質問ですが、事業系ごみの排出抑制について、要綱があるということですが、この要綱に該当する事業所の数と、指導した経過はあるのでしょうか。

　　　廃棄物対策課長補佐

　　山形県循環型社会推進計画を目標にしていくというのは、基本的なことだと認識しています。今後の基本計画への記載につきまして検討させていただきます。

リサイクル推進主査

　　事業系の一般廃棄物については、減少傾向にありまして、要綱に基づく指導は、平成２２年度実施以来行っておりません。平成２５年度の事業系の一般廃棄物排出量については、一転増加傾向になっており分析につとめているところです。次年度以降結果を踏まえまして、指導あるいは、雑紙等のリサイクルなどの啓蒙などを進めていきたいと思っています。要綱に該当の事業者数については、今日は、持ち合わせておりませんので了承願います。

委員

　　届出制度なんですか。

リサイクル推進主査

　　届出制度はありません。要綱では年間排出量５トン以上排出する事業者が

　対象となっています。

会長

　　今年２月段階では、生活系ごみが２．４パーセント減という数字がているということで、このまま平成２５年度の実績が２パーセントマイナスとなった場合は、その要因を分析していただきたい。

ごみ分別講習会が４０回 で１，２００人、リサイクルプラザでの子供たちへの啓蒙などきめ細かな指導がごみ減量につながっているのだと思います。

講習会は、今までになかった回数を開催したのではないかと思います。

　　また、早朝立哨指導については町内会の役員等大勢の方からの協力を得て

　実施するなどそういうことが、功を奏していると思います。今後もこのようなことをしっかりやっていただければあいがたいと思っています。

　　今年度のごみ量の実績を見て事業系が多いのは、駆け込み需要でリフォームしたときに出たごみが持ち込まれるケースが増えたということもあるのではという気がします。そのような解析をしてみると少し原因が見えるのかなと。

　　それでは、平成２６年度の一般廃棄物処理実施計画をご承認していただけますでしょうか。

　　満場一致で承認されました。

６．その他

　市民部参事

鶴岡市総合計画後期基本計画及び新ごみ焼却施設整備基本構想の説明をさせていただきます。

鶴岡市総合計画後期基本計画につきましては、ごみ焼却施設、リサイクルプラザ、岡山最終処分場、し尿処理施設の四つの施設はいずれも老朽化など進んでおり、新たな施設を整備していくことが大きな課題となっておりますので、今回、総合計画後期基本計画に新たな廃棄物処理施設の整備を追加したものであります。廃棄物処理施設の更新にあたりましては、循環型社会の構築を目指す国の方針に基づき排熱を利用した効率的なエネルギー利用など、地域の生活環境や地球環境に配慮した新たな施設の整備を推進してまいりたいと考えているところです。

新ごみ焼却施設整備基本構想の概要でありますが、４つの施設の中でも、

　　　 ごみ焼却施設は特に老朽化が進んでおりますので、新たなごみ焼却施設整備

に向けまして、今年度、施設整備基本構想などを策定したところでございます。

　 基本構想の概要でありますが、施設整備の基本方針として、安全に配慮し、

 長期の安定稼働をめざす施設など、五つの方針を掲げまして、環境に配慮した、

 適正な施設整備を進めてまいります。整備規模でありますが、平成３３年度

 の年間処理量を４２，２７３トンと見込んでおり、1日約１５７トンの焼却炉

 を想定しております。スケジュールといたしまして、次年度、施設整備計画策

定業務などに着手をいたしまして、平成３３年度の供用開始を予定しておりま

す。施設については、周辺環境に配慮したものといたしまして、ごみ処理の

方式といたしましては、ストーカー式の焼却処理施設でありますとか、ガス化

溶融処理施設といったものがございますけれども、様々な観点から今後の基本

計画などを踏まえまして、どういった方式がいいのかといった方向性を定めて

まいりたいと考えております。余熱利用システムにつきましては、現在のと

ころ、排熱ボイラーによる、発電を検討してまいりたいと思っておりますし

施設は、ここクリーンセンター内に建設する方向で検討してまいりたいと考えております。

委員

　　飲食店から出る食品ロスというのが、ひじょうに大きな問題になっていまして、山形県循環型社会推進計画の進行管理ということで、ごみ処理山形推進県民会議があるのですが、そこで議論されまして、食品ロスを減らす運動ということでチラシをつくり食品衛生協会、旅館、ホテル、生活衛生同業組合加盟店などに配布し運動をしたということをお知らせします。

会長

　　その他ございませんか。無いようですので議長を降壇させていただきます。

７．閉会